



開園50周年を迎えた沼津御用邸記念公園

令和元年度の決算を審査

- 一般会計・特別会計・企業会計の決算を認定しました…………… P.2~3

ピックアップ議会

- 令和2年度沼津市一般会計補正予算(第11回)をはじめとする
新型コロナウイルス感染症対策予算の内容…………… P.4

市政について問う！

- 17人の議員が一般質問を行いました…………… P.6~10

決算を認定!

定例会の 主な内容

第6回(9月)定例会は、9月16日から10月16日までの31日間にわたり開催しました。この定例会では、令和元年度沼津市一般会計歳入歳出決算の認定等29件、議員提出議案2件を審議し、いずれも原案のとおり議決しました。

ここでは、令和元年度の一般会計、特別会計及び企業会計の審査、歳入・歳出決算額等の主な内容をお知らせします。

特別会計決算

会 計	歳 入	歳 出	差 引 額
国民健康保険事業	223億7,890万円	217億9,136万円	5億8,754万円
土地取得事業	5億176万円	5億176万円	0円
介護保険事業	168億7,255万円	166億1,696万円	2億5,560万円
簡易水道事業	3,112万円	3,099万円	13万円
後期高齢者医療事業	25億3,399万円	25億2,474万円	926万円

企業会計決算

会 計	収 入	支 出	差 引 額	
病院事業	収益的収支	111億8,566万円	110億8,033万円	1億533万円
	資本的収支	4億9,188万円	8億8,428万円	△3億9,240万円
水道事業	収益的収支	30億6,481万円	25億3,305万円	5億3,175万円
	資本的収支	10億1,087万円	24億6,634万円	△14億5,547万円
下水道事業	収益的収支	52億4,328万円	48億2,515万円	4億1,813万円
	資本的収支	21億9,456万円	40億2,306万円	△18億2,850万円

- ◆収益的収支：事業活動に伴って生じる収入と支出 ◆資本的収支：建物や機器などの資産の購入・売却による収入と支出
◆一般会計から病院事業会計へ20億5,000万円、水道事業会計へ2,377万7,000円、下水道事業会計へ23億3,000万円繰り入れています。
なお、企業会計決算額は、消費税及び地方消費税を含みます。

特別会計企業会計予算決算委員会での主な質疑

問 平成30年度の国民健康保険制度改革に伴う本市の事業運営への影響は。

答 平成30年度の国民健康保険制度改革に伴い、県が財政運営の責任主体となり、市町の保険給付が急激に増加する状況になったとしても、県から全額、保険給付費等交付金として交付される制度となった。これにより、本会計において医療費が急増した際の財源確保など運営上のリスクが少なくなり、財政運営の安定化に効果があったと考えている。

問 国民健康保険の保険給付費の増加を抑制するための取組は。

答 医療費を抑える取組として、特定健康診査や人間

ドックなどの健診事業に加え、生活習慣の改善施策などにより被保険者の健康の保持増進を図るとともに、頻回、重複受診者への指導やジェネリック医薬品の利用促進などを実施した。

問 令和元年度の病院事業会計決算の評価は。

答 令和元年度は、沼津市立病院新改革プランの3年目であり、収入増加策や費用削減策に、引き続き取り組んできた。収入増加策としては、平成31年4月から泌尿器科の入院診療や手術を再開することができたとともに、看護師等の配置の見直しによって新たな加算を取得し診療報酬単価の向上などに取り組んだ。これらの結果、平成30年度

に比べ、入院患者数が2,904人増加し、入院収益は約5億4,700万円増加した。また、費用削減策としては、医療機器に対する複数の保守点検契約の包括契約への変更、契約電力の入札による価格競争の導入などを実施した。令和元年度は、このような収入増加策や費用削減策に取り組み、経常収支は平成25年度以来の黒字となり、約7,800万円の純利益を計上した。

問 水道施設の耐震化の進捗状況は。

答 沼津市水道事業ビジョンで設定した令和元年度の目標耐震化率に対する進捗状況について、配水池は、目標値77.3%に対し76.2%で、目標値を1.1ポイント下回った。

基幹管路は、目標値38.6%に対し38.6%、耐震化優先管路は、目標値26.6%に対し26.6%で計画通りの整備が図られた。以上のことから、おおむね計画通りに進んでおり、水道施設の耐震化が順調に図られていると考えている。

問 本決算を踏まえた下水道事業経営に対する認識は。

答 令和元年度は、平成31年4月の下水道使用料改定などにより、純利益、約3億2,800万円を計上したことで累積欠損金を解消することができた。しかし、今後も施設の老朽化対策や管路の整備など多額の費用が見込まれる状況にあることなどから、経営改善に向けたより一層の取組が必要であると考えている。

令和元年度の決算を審査

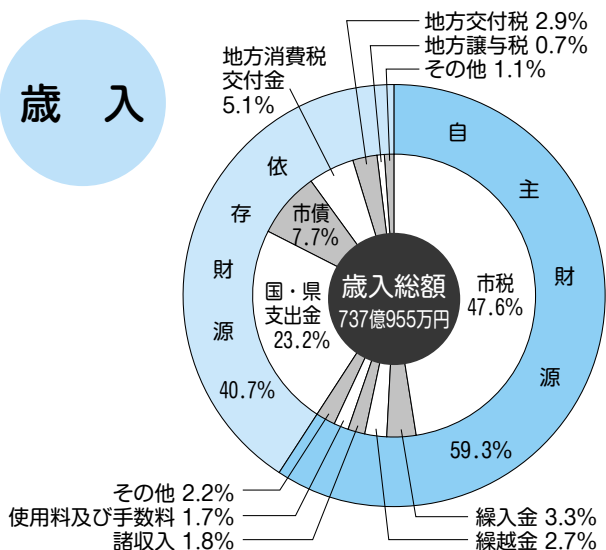
一般会計・特別会計・企業会計の

◆2～3ページの表は、1万円未満を四捨五入してあるため、差引額及び比較増減額が一致しない場合があります。

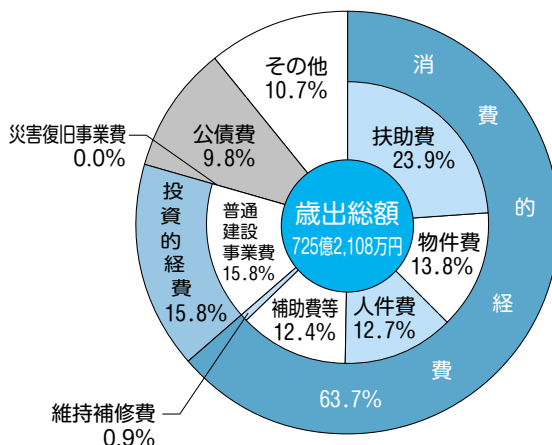
	歳入	歳出	差引額
令和元年度決算額	737億955万円	725億2,108万円	11億8,846万円
平成30年度決算額	731億346万円	711億4,416万円	19億5,929万円
比較増減額	6億609万円	13億7,692万円	
増減率	0.8%	1.9%	

一般会計決算

歳入



歳出



一般会計予算決算委員会での主な質疑

問 個人市民税における納税義務者の状況は。

答 平成30年度に比べ、納税義務者数は347人増の10万3,643人、総所得金額は38億4,744万3,000円増の3,030億8,519万円であった。

問 津波対策事業の主な取組内容は。

答 第二地区、第三地区及び戸田地区において、津波避難ビルを新たに29棟指定したことにより、第二地区、第三地区における津波避難困難地区は、ほぼ解消できた。また、新たな津波避難路7路線の指定、既存避難路13路線の整備を行ったほか、津波からの避難方向などを推奨する「逃げ地図」を津波対策計画

の対象自治会へ配布した。

問 フェンシングのまちづくりの取組と成果は。

答 女子フルーレ4か国合同合宿等の受入れにより、沼津の練習会場やスタッフの対応等を直に知ってもらった結果、カナダ代表チーム及び日本代表フルーレチームとの東京2020大会事前合宿に係る覚書締結につながった。また、民間事業者やメディアを招いて、スマートフェンシング体験会や日本フェンシング協会の太田雄貴会長によるトークショーを開催することで、参加者からフェンシングへの理解と市の取組への協力を取り付けることができたことは、次年度に向けての大きな成果であったと考えている。

問 小中学校におけるエアコンの整備状況は。

答 令和元年度は、市内公立小学校24校と中学校2校の普通教室334室に359台のエアコンを整備したほか、特別教室についても、小学校24室と中学校1室に48台のエアコンを整備した。

問 沼津市まち・ひと・しごと創生総合戦略に基づく定住人口確保のための主な取組は。

答 本戦略に掲げる4つの基本目標のうち、基本目標1「沼津における安定した雇用を創出する」に対しては、UIJターンによる就職者を増加させるための取組として奨学金返還支援制度や企業誘致活動などを実施した。基本目標2「沼津への新しいひとの流れをつ

くる」に対しては、首都圏からの移住を促進するため、移住相談会や移住体験ツアーなどを開催した。基本目標3「若い世代の結婚・出産・子育ての希望を叶える」に対しては、婚活イベントの開催や母子保健コーディネーターの配置など相談・支援体制の強化を図り、結婚、妊娠、出産、子育ての切れ目ない支援を行った。基本目標4「時代に合った地域をつくり、安心な暮らしを守るとともに、地域と地域を連携する」に対しては、津波避難路の整備や総合的治水対策を進めるなど、災害に強く、人々が安全・安心を実感できるまちづくりに取り組んだ。この取組の結果、令和元年度は、49年振りに転入超過を達成した。

9月定例会では、一般会計補正予算をはじめ、新型コロナウイルス感染症対策の拡充に関する様々な議案を審議しました。

ここでは、主な事業や予算の内容についてお知らせします。

新型コロナウイルス感染症対策予算の主な内容

●児童扶養手当支給事業費 4,532万円

本市独自の、児童扶養手当受給者応援特別給付金（1世帯3万円）

●住居確保給付金受給者応援事業費 150万円

就職活動応援給付金（1世帯2万円）

●地産地消総合推進事業費 590万円

生産者支援のためのイベント開催経費



●水産業振興推進事業費 1,900万円

漁業者等を支援するための出漁・水産物流通促進補助金ほか

●キャッシュレス決済推進事業費 1億5,525万円

ポイント還元事業に係る経費

●図書館電子化等推進事業費 2,480万円

電子書籍サービスの導入経費ほか



議第70号
令和2年度沼津市一般会計補正予算
(第11回)



●PCR検査を行う地域外来・検査センターの設置・運営 1,390万円



認第36号
専決処分の報告及びその承認（令和2年度沼津市一般会計補正予算（第10回））



●市立小中学校の児童生徒用端末ほかの取得 6億3,147万1,500円

●市立小中学校の大型提示装置の取得 4,974万1,230円

端末機13,420台、大型提示装置（ディスプレイ）302台など



議第75号
財産の取得（児童生徒用端末ほか）
議第76号
財産の取得（大型提示装置）



●避難所開設用のワンタッチパーテーションの取得 3,705万750円

ワンタッチパーテーション1,350張

認第35号
専決処分の報告及びその承認（財産の取得（ワンタッチパーテーション））



令和2年度沼津市一般会計補正予算（第十一回）をはじめとする 新型コロナウイルス感染症対策予算の内容

※新型コロナウイルス感染症拡大防止に係る沼津市議会の取組については、P.12 を御覧ください

一般会計予算決算委員会での主な質疑

問 住居確保給付金受給者応援事業の内容は。

答 新型コロナウイルス感染症の影響等により、離職や廃業のため住居確保給付金を受給している世帯のうち現在求職活動中の者がいる世帯に対し、求職活動費用及び就労開始時の支度金として1世帯当たり2万円を支給し、生活に困窮する世帯の自立を支援するものである。

問 キャッシュレス決済推進事業の内容は。

答 新しい生活様式に対応したキャッシュレス決済の普

及や市内事業者への支援を目的とし、市内の中小事業者でキャッシュレス決済PayPayを用いて商品を購入した際に、購入金額の20%をポイントで還元するキャンペーンを開催するものである。なお、ポイントの付与は1会計につき1,000ポイントまでとし、開催期間中の付与上限は1人当たり5,000ポイントとする。



9月定例会の主な議案一覧

	議案名	内容	議決結果
条例	議第 69 号 沼津市長等の損害賠償責任の一部 免責に関する条例の制定	■市長等の損害賠償責任の一部免責について定めます 地方自治法第 243 条の 2 第 1 項の規定に基づき、市長等の市に対する損害を賠償する責任を、職務を行うにつき善意でかつ重大な過失がないときは、賠償の責任を負う額から条例で定める額を控除して得た額について免れさせることを定めるものです。	可決
予算	議第 70 号 令和 2 年度沼津市一般会計補正 予算 (第 11 回)	■ 7 億 5,702 万円を追加し、予算総額は 952 億 6,107 万円となります 追加したものは、公共交通支援事業費 2 億 2,860 万円、小学校給食調理場空調設備整備事業費 1 億 8,867 万 9,000 円が主なもので、財源としては、それぞれの特定財源のほか、一般財源として基金繰入金などをもって充てるものです。このほか、臨時財政対策債の起債限度額を変更するものです。	可決
	議第 77 号 令和 2 年度沼津市病院事業会計 補正予算 (第 3 回)	■ 1 億円を追加し、収益的支出の総額は 117 億 8,274 万円となります 医療事故に係る損害賠償金支払いのため、雑支出に 1 億 3,189 万 5,000 円を追加したもので、財源としては、保険金収入 1 億円のほか、材料費 3,189 万 5,000 円を減額して充てるものです。	可決
契約	議第 73 号 工事請負契約の締結 (浜水門排水 機場ポンプ等更新工事)	■浜水門排水機場のポンプ等の更新工事を行います 制限付き一般競争入札により 2 億 2,880 万円で三島市谷田 1301 番地の 1、株式会社二和工業商会 代表取締役 堀内忍と工事請負契約を締結するものです。工事の内容としては、下香貫牛臥地内において、立軸軸流エンジンポンプ 1 台の更新及び排水機場機械電気設備工事を行うもので、完成期限は令和 4 年 1 月 9 日です。	可決
	議第 74 号 工事請負契約の締結 (香貫大橋 塗装塗替工事)	■香貫大橋の塗装塗替工事を行います 制限付き一般競争入札により 2 億 4,200 万円で静岡市清水区西久保 420 番地の 5、株式会社コウノ 代表取締役 香野智章と工事請負契約を締結するものです。工事の内容としては、中瀬町地内他において、塗装塗替工事及び橋梁補修工事を行うもので、完成期限は令和 3 年 3 月 15 日です。	可決
人事	認第 37 号、認第 38 号 固定資産評価審査委員会委員選 任の同意	令和 2 年 10 月 25 日をもって任期満了となる望月繁和 ^{もちづきしげかず} 氏の後任として、戸田在任の勝呂猛 ^{かつら たけし} 氏を選任するもの、また、令和 2 年 10 月 25 日をもって任期満了となる大岡在任の松井泰樹 ^{まつい やすき} 氏を再任するものです。	同意

☆このほかの議案については、沼津市議会のホームページを御覧ください。

沼津市議会

検索



会派別 賛否が分かれた議案一覧

○ = 賛成 × = 反対 ※ () 内は所属議員数

	議案名	議決結果	志	自	市	公	立	沼	日	未	無
			政	民	民	明	憲	津	本	来	所
			会	沼	民	党	沼	津	共	の	属
			(7)	(6)	(4)	(3)	(3)	(2)	産	風	(1)
									団	(2)	
決算	認第 39 号 令和元年度沼津市一般会計歳入歳出決算 の認定	認定	○	○	○	○	(1)(2) ○×	×	×	×	○
	認第 40 号 令和元年度沼津市国民健康保険事業特別 会計歳入歳出決算の認定	認定	○	○	○	○	○	×	○	○	○
	認第 41 号 令和元年度沼津市土地取得事業特別会計 歳入歳出決算の認定	認定	○	○	○	○	(1)(2) ○×	×	×	×	○
	認第 44 号 令和元年度沼津市後期高齢者医療事業特 別会計歳入歳出決算の認定	認定	○	○	○	○	○	×	○	○	○

市政について 問う!

第六回（九月）定例会では、十七人の議員が市政について質問しました。

一般質問



全ての質問項目
(通告一覧)はこちら

議員名	主な質問項目	掲載頁
梅沢 弘	住民福祉の増進、コロナ禍と生活困窮対策、本市長期財政試算	6
平野 謙	本市の生活保護制度	6
水口 淳	防災対策、戸別受信機全戸設置	7
尾藤 正弘	ゼロカーボンシティ、観光型Ma a S、特殊詐欺対策	7
霞 恵介	学校運営協議会、給食調理場	7
深田 昇	3密での密閉対策、母子保健事業、子育て支援センター	7
梶 泰久	避難行動につながる情報、コロナ禍の避難、地元運営の避難所	8
渡部一二実	マイナンバーカード対策、新型コロナをプラス転化	8
渡邊 博夫	教育大綱、幼児教育、学校教育、社会教育、令和2年7月豪雨	8
小澤 隆	公共工事の時期平準化、休日を見据えた工事期間	8
井原三千雄	市立病院の経営改善、災害対応の強化	9
片岡 章一	地域コミュニティ、子育て支援	9
小泉 宣子	高齢者施策、女性の視点での防災対策	9
長田 吉信	市営住宅の入居の取扱い、新生児への特別定額給付	9
山下富美子	中継中間処理施設、プラ容器とペットボトル、コロナ禍の財政	10
岡田 進一	介護施設の感染症対策、介護事業者への支援計画	10
川口 三男	公助を拡大した市政運営、鉄道高架の効果と根拠	10

※形式として質問形式を記載しています。

一 括：通告した全ての内容を一括して質問した後、市当局が一括して答弁する方式

一問一答：議員からの一つ一つの質問ごとに、市当局が答弁する方式

複 合：1回目は一括で行い、2回目以降から一問一答に切り替えて行う方式

※議員名の下にQRコードを読み取ると、各議員の一般質問の録画映像が視聴できます。

ケースワーカーの配置数の状況と 扶養義務者調査の目的は

問 生活保護を担当するケースワーカーの配置数の状況は。

答 福祉事務所長／社会福祉法におけるケースワーカーの標準配置数が八十世帯につき一人であるのに対し、本市の配置数は九十四世帯につき一人となっているが、職員同士が相互にサポートする体制を取るなど、効果的な配置で業務を行っている。また、研修の受講や困難ケースを協議する会議の実施などにより、組織的な機能強化も図っている。今後適切な人員、人材を確保し、効果的な福祉サービスの提供に努めていく。

問 生活保護の開始等に当たり要保護者の親族に対し、経済的、精神的な支援の可否について照会を行う扶養義務者調査の目的と効果は。

答 福祉事務所長／扶養義務者調査は、生活保護制度の適正な実施を目的としており、また、要保護者に対する経済的支援に加え見守りや声かけなどの精神的支援を求めるなど双方の関係構築に寄与するものであると認識している。



▲対応等を協議するケース会議

平野 謙 形式 一問一答



コロナ禍における大規模事業の 見直しに対する考えは

問 コロナ禍による影響を踏まえ、大規模公共事業について、検討や見直しを実施する考えは。

答 企画部長／本市では総合計画をはじめとした各分野別の計画や各種事業について、コロナ禍等の危機事象による社会経済状況の変化や市民ニーズなどを的確に捉え、緊急度や優先度、事業効果などを検証しながら進捗を図っている。引き続き計画の策定及び事業の企画・立案・執行を図っていく。

問 鉄道高架事業を進めることで将来的な負担を与えるものと考えているが、

答 沼津駅周辺整備部長／鉄道高架事業をはじめとする沼津駅周辺総合整備事業は、鉄道による南北市街地の分断などを抜本的に解決するとともに、鉄道跡地の活用により良好な居住空間の創出や民間投資の促進を図られる事業である。また、本事業により、本市全体の経済活動が活性化され、都市全体の価値が高まることから、本事業によるまちづくりを進めることは住民福祉の増進に寄与するものであると考えている。

梅沢 弘 形式 一問一答



観光型Maasに対する本市の認識は

問 伊豆半島と県中部で実施される観光型Maasの実証実験第三段階では、交通機関や観光施設などのデジタルチケットを扱うサイトのサービスを拡充して、利用交通機関の範囲を拡大するほか、交通機関のフリーパスや観光施設のデジタルパスの種類を増やし、観光客の利便性を向上させる内容となっており、有効な手法であると考えますが、観光型Maasに対する本市の認識と今後の取組は。

答 産業振興部長／観光型Maasは、交通機関や観光施設などの予約

や支払いをスマートフォンで決済することで、シームレスな移動が可能となるIoTを活用したシステムであり、観光客の利便性の向上が図られる効果が期待される。また、一般のコロナ禍の状況において、スマートフォン画面を提示するデジタルフリーパスの機能は、対人接触を最小限に抑えることや、観光施設等における混雑状況の配信を通じて、密を避ける行動を促す効果も期待されること認識しており、今後の取組については、他市町や交通事業者等と情報を共有し、研究していく。

尾藤 正弘 形式一括



同報無線の戸別受信機を希望する市民向けに設置する考えは

問 同報無線の戸別受信機設置について、①希望する市民向けに設置する考えは。②市民アンケートを実施する考えは。

答 危機管理監／①戸別受信機は、地区センターや学校などの公共施設に整備することを基本としている。また、スマートフォンなどの情報機器が利用できる市民向けに、危機管理情報メールや防災アプリなどを導入しているほか、高齢者などの情報機器の利用が難しい人のために、コースTFM等との連携による災害時の情報発信や同報無線自動応答システムの

導入、自動架電システムを導入しており、様々な方法で災害情報の内容が届くように努めていることから、現時点では、市民向けの戸別受信機設置は考えていない。②市民アンケートの実施については、市民への情報伝達手段の多様化について引き続き研究していく中で、戸別受信機設置の必要性を見極める上で慎重に検討していく。



▲災害情報の発信に活用されている津州市公式防災アプリ

水口 淳 形式一括



避難所等における換気状況の確認や診断は

問 災害時に大勢の人が訪れる避難所や帰宅困難者一時滞在施設では、感染リスクが高くなることから、センサーによる換気状況の計測や事前のシミュレーションを行うべきと考えるが、本市の認識は。

答 危機管理監／換気は感染症予防の重要な要素であり、換気状況の計測やシミュレーションは、三密が懸念される避難所等の感染リスク低減につながるものと考えている。センサーを設置して温湿度や二酸化炭素濃度などを計測することは、タイムリーに施設内の空気状況が分かり、

その状況に応じた換気ができるため、避難者が多く集まる場所に設置することで、リスク管理につながるものと認識している。また、避難所等の空気の流れのデータを収集し、気流をシミュレーションすることは、ウイルスの滞留しやすい箇所が把握できるなど、事前に感染リスクを予測して、対応を検討することにつながるものとして認識しているが、これらの取組の費用対効果など、検証すべき点も多いことから、他市の動向を注視しつつ、慎重に検討を重ね、適切な換気の実施に取り組んでいく。

深田 昇 形式一括



学校運営協議会設置の目的や効果は

問 学校運営協議会について、①設置の目的や効果は。②学校評議員会及びPTAとの関係は。

答 教育長／①いじめや不登校など、子供を取り巻く環境や学校が抱える課題は複雑化、多様化しており、これまで以上に、学校と地域の連携・協働体制を構築することが不可欠であることから、目指す子供の姿を地域と共有し、一体となって子供たちを育む、「地域総がかり教育」を推進するために、学校運営協議会を設置することとした。これにより、保護者や地域住民等が、当事者として

学校運営に参画し、教育課程や学力向上などの学校運営について対等な立場で協議することで、地域の力を活用した教育活動の充実や持続性のある教育の推進などが図られる。②学校運営に対する意見を保護者から伺う学校評議員会は、学校運営協議会の機能に内包されるため、廃止となる。PTAについては、保護者と教職員の協働による組織であり、学校運営を内部から支援することを目的としているため、学校運営協議会設置に伴う影響はないものと考えている。

霞 恵介 形式一括



マイナポイント制度の実施に伴う マイナンバーカードの申請状況は

問 個人消費の拡大とマイナンバーカードの取得促進を目的に、一人当たり最大五千円分のポイントが付与されるマイナポイント制度が令和二年九月から始まったが、本市におけるマイナンバーカードの申請状況は。

答 市民福祉部長／令和元年度における月平均の申請件数は五百五十件程度であったが、マイナポイント制度の周知が進むにつれて申請が増えており、令和二年四月は千件を超え、マイナポイントの予約申込みが開始された七月は約二千件、八月は約二千二百件と増加している状況にある。

渡部

一 二 実 形式 一 括



災害時におけるコロナ禍を踏まえた 避難行動の普及・啓発を

問 災害時には、自らの判断で最善の安全を確保する行動が求められているが、コロナ禍を踏まえた避難行動について、市民に普及・啓発する考えは。

答 危機管理監／災害から逃れるためには、平時から地域の災害リスクを確認し、災害時に取るべき行動への理解を深め、自らの判断で避難行動を取ることが重要である。コロナ禍においては、避難所内での感染拡大を防ぐ観点から、市指定の避難所への避難だけではなく、安全を確認した上で自宅にとどまって避難生活を

梶 泰久 形式 一 括



をする在宅避難や災害リスクのない場所での車の中で過ごす車中泊避難など、様々な形態による分散避難が求められており、避難所以外への避難の検討について市民一人一人の理解と協力が不可欠となる。このことから、今後は災害リスクや避難場所等の確認をするのに重要なツールであるハザードマップ等を活用し、避難先の周知を含めた適切な避難行動について、さらなる普及・啓発を図っていく。



▲ハザードマップ等で事前に災害リスクなどの確認を

公共工事の施工時期の平準化 に対する認識は

問 公共工事の施工時期の平準化に対する本市の認識は。

答 建設部長／年度初めは入札手続に時間を要するため、公共工事の発注量が少なくなる傾向にあるが、これを平準化し、年度を通じた切れ目のない計画的な公共工事の発注をすることに、建設業者の経営効率化や安定化が図られ、担い手の処遇改善や確保につながるとともに、人材や資機材の効率的な活用により、さらなる生産性の向上や品質管理の向上が図られるものと認識している。

問 公共工事の施工時期の平準化を

小澤 隆 形式 一 問一答



新しい沼津市教育大綱の 策定に向けた市長の決意は

問 新しい沼津市教育大綱について、①策定に向けた市長の決意は。②その目的、基本方針を具現化するための教育政策は。

答 市長／①教育は、人として持つ豊かな人間力や健やかな心身を涵養するために最も基本となるものであり、本市ならではの特色ある教育の推進を図るために定める教育大綱は極めて重要であると認識している。このため、社会状況や沼津市教育基本構想の実績評価、現在策定中の第五次沼津市総合計画等を踏まえ、沼津市教育大綱を新たに策定すること

渡邊 博夫 形式 一 括



とし、その目的や基本方針が本市の教育のさらなる発展につながるよう、引き続き教育委員会と連携していく。

教育長／②大綱案では、知・徳・体の育成による人間力を磨く教育の推進と、生涯を通じた学びの促進を掲げ、将来にわたり地域社会を支え活躍できる人材の育成などに総がかりで取り組むことを目指している。このことから、これまでの家庭教育や幼児教育、学校教育、社会教育という枠組みに捉われず、連続性、系統性に留意した施策を進めていきたいと考えている。

多胎・多子家庭が利用しやすい 子育て支援サービスの環境づくりを

問 多胎・多子家庭への支援として、必要とされるサービスや利用しやすい環境を整える考えは。

答 市民福祉部長／多胎・多子家庭の育児負担や経済的負担、また、孤立しがちな状況に対しては十分な配慮が必要であると認識しており、多胎産婦に対する訪問型育児支援の利用上限の倍増などを令和二年度から実施している。今後も、対象年齢の引上げや、保護を必要とする児童への適用など支援範囲の拡大を検討し、多胎・多子家庭を含む多様な子育て世帯の負担を軽減する支援の充実を

図るとともに、利用を促進していく。

問 子育て家庭や妊産婦が、子育て支援に関する様々なサービスを円滑に利用できるよう、ワンストップ窓口のような体制を整える考えは。

答 市民福祉部長／令和二年度から、子ども・子育て支援法に基づく利用者支援事業を開始した。この事業は、豊富な知見を有する子育てコンシェルジュを本庁内に配置し、総合的な相談支援を行うとともに、円滑に各専門部局につながるもので、今後、ワンストップ窓口としてさらなる機能充実と利用促進を図っていく。

片岡 章一 形式一 括



沼津市立病院新改革プランにおける 取組と成果は

問 沼津市立病院新改革プランにおける人材、設備、情報発信、経営の四つの観点からの取組と成果は。

答 病院事務局長／人材については、令和二年四月一日現在の常勤医師は九十六人であり、引き続き大学医局等との連携を強化するなど医師確保に努めていく。設備については、医療機器の更新等を戦略的に行っており、また、老朽化対策として、空調設備の更新等を実施したほか、現在、飲料用貯水槽の耐震化などを進めている。情報発信については、広報誌ぬまピタルの発行のほか、現在ホー

ムページのリニューアルを行っている。また、健康まつりでは年々参加者が増加するなど、市民にとって当院が身近な存在になっていくと認識している。経営については、患者数及び診療単価の増加などの収入増加策、材料費の価格交渉などの費用削減策に取り組み、令和元年度の決算では経常収支黒字化を達成した。



▲様々な体験ブースが展開される沼津市立病院健康まつり

井原 三千雄 形式一 括



市営住宅への入居に際しての 連帯保証人の確保についての認識は

問 身寄りのない単身高齢者等は、市営住宅の入居に当たり、連帯保証人の確保が困難となる場合が想定されるが、本市の認識は。

答 建設部長／市営住宅入居の際は、家賃債務保証等の観点から連帯保証人を求めているが、確保できない場合でも、住宅困窮者の居住の安定の観点から、特段の配慮を行う必要があると認識している。今後は、民間の家賃債務保証業者等による入居保証の活用について、先進事例の情報を収集するなど、連帯保証人の確保が円滑にできる仕組みを検討していく。

問 8050問題などを背景に、市営住宅において、名義人の死亡等により入居者が六十歳未満の単身者となる事例が増加すると想定されるが、本市における入居継承条件の運用は。

答 建設部長／入居継承は、名義人の同居者である配偶者、高齢者、障害者のほか、六十歳未満の同居者についても、生活状況を把握した上で、特に居住の安定を図る必要がある場合は認める運用となっている。



▲生活の安定と社会福祉の増進に寄与する市営住宅

長田 吉信 形式一 括



災害時の備えとして 静岡県助産師会との協定締結を

問 避難所等での母子支援活動が円滑に行われるよう県内市町と助産師会との協定締結を推進することを目的に、静岡県と静岡県助産師会が平成三十年三月に基本協定を締結したが、これを受け、本市も助産師会との協定を締結する考えは。

答 市民福祉部長／助産師会との連携、協力体制の構築は、災害時の妊産婦等の支援や福祉避難所の開設において有効と考えており、今後、協定締結に向け協議を進めていく。

問 地域におけるボランティアの人材確保のため、ボランティア活動への

参加により付与されたポイントの商品券等と交換できるボランティアポイント制度を導入する考えは。

答 市民福祉部長／地域における身近な支え合い活動を促進していくためには、より多くのボランティアの参加が必要であり、また、高齢者のボランティア参加は、生きがいやフレイル予防にもつながると認識している。そのため、共助への意欲を促進する効果が期待できるボランティアポイント制度については、先進事例を参考に、実効性などについて調査研究していく。

小泉 宣子 形式一 括



介護施設における感染症拡大防止対策は

問 介護施設におけるPCR検査の実施などの新型コロナウイルス感染症対策は。

答 福祉事務所長／重症化リスクの高い高齢者への感染拡大防止は非常に重要であり、現在も介護事業者に対して徹底した感染防止対策の実施を求めている。今後も、これまでと同様に感染防止対策の徹底を促すとともに、感染状況の変化や国・県の動向などを注視し、特定の対象者に対するPCR検査の必要性が生じた場合には的確に対応していく。

問 新型コロナウイルス感染症拡大防止に向けた取組は。

答 生活環境部長／広報めまづやホームページをはじめ、各地区の分別説明会や出前講座で異物混入による発火事故の防止を取り上げるなど、ごみの分別について周知に努めている。また、プラスチック製容器包装の手選別ラインのコンベヤーの速度を落として、発火原因となる電池などの危険な異物を確実に取り除くよう取り組んでいる。

岡田 進一 形式一括



沼津市中継・中間処理施設の経年劣化への対応は

問 沼津市中継・中間処理施設の設備の経年劣化への対応は。

答 生活環境部長／本施設の設備機器の運転・管理をしている業者からの報告や専門業者による定期点検に基づき消耗部品の交換を行っているほか、主要設備である破袋機やコンベヤーの駆動部などに磨耗・変形などが確認された場合には、必要に応じて修繕を実施し、経年劣化の影響を抑えることで、処理能力の維持を図っている。

問 プラスチック製容器包装への異物混入が原因で発生する発火事故の防止に向けた取組は。

答 生活環境部長／広報めまづやホームページをはじめ、各地区の分別説明会や出前講座で異物混入による発火事故の防止を取り上げるなど、ごみの分別について周知に努めている。また、プラスチック製容器包装の手選別ラインのコンベヤーの速度を落として、発火原因となる電池などの危険な異物を確実に取り除くよう取り組んでいる。



▲手選別ラインで異物を取り除く様子

山下 富美子 形式複合



第3回(8月)臨時会を開催

第3回臨時会は、8月5日に開催し、新型コロナウイルス感染症対策に係る一般会計補正予算の専決処分の報告及びその承認等6件を審議し、いずれも原案のとおり議決しました。



新型コロナウイルス感染症対策予算の主な内容

- 児童扶養手当支給事業費** 1億9,348万円
ひとり親世帯へ臨時特別給付金を支給(1世帯5万円、第2子以降1人につき3万円追加、さらに収入減少の申出で5万円追加)
- 沼津の活力応援サポート事業費** 1億1,500万円
本市への誘客を図るため、市内宿泊者に対するおもてなしの品の製作・配付など
- 衛生用品等整備事業費** 1億1,100万円
市役所業務及び避難所における感染症予防に係る物資の購入



全員協議会を開催

9月9日に全員協議会を開催し、第5次沼津市総合計画基本計画に係る策定スケジュール及び計画案の内容について、市当局から報告を受けました。



コロナ禍の中で市民を守るための市政運営を行う考えは

問 コロナ禍の中で市民を守るための市政運営を行う考えは。

答 市長／本市の経済や雇用は厳しい状況で、今後の見通しについても不透明な中、本市では新しい生活様式に基づいた感染症拡大防止と経済活動の両立を目指し様々な施策を実施している。今後、市内経済と市民生活の下支えに向けて限りある経営資源を効果的に配分するなど、これまで以上に効率的な行財政運営に取り組む必要がある。また、人口減少や少子高齢化の進展が危惧される中、行政が支援を行う公助に加え、市民

問 同士が協力し支え合う共助が重要であると考え、第五次沼津市総合計画基本構想のまちづくりの基本理念に「誇りとつながり」を打ち出した。

問 鉄道高架事業により発生する鉄道跡地等への都市機能導入に要する事業費の見込みと財源確保は。

答 沼津駅周辺整備部長／鉄道跡地等に導入する機能が確定していないことから、現段階で必要となる事業費を具体的に示すことはできないが、財源の確保については国・県の補助金の活用に加えPF1等の公民連携など、あらゆる手法を検討していく。

川口 三男 形式複合



意見書

この意見書は、令和2年10月16日に全会一致で可決された後、関係官庁等へ送付しました。



※意見書とは、市だけの努力では解決できない公共の利益に関する問題について、市議会の意思をまとめて国や県に要望するものです。

新型コロナウイルス感染症の影響に伴う地方財政の急激な悪化に対し地方税財源の確保を求める意見書

新型コロナウイルス感染症が世界的に蔓延し、我が国は、戦後最大の経済危機に直面している。地域経済にも大きな影響が及び、令和2年度はもとより令和3年度においても、地方税・地方交付税など一般財源の激減が避け難くなっている。

地方自治体では、医療・介護、子育て、地域の防災・減災、雇用の確保など喫緊の財政需要への対応をはじめ、長期化する感染症対策にも迫られ、地方財政は巨額の財源不足を生じ、これまでにない厳しい状況に陥ることが予想される。

よって、国においては、令和3年度地方財政対策及び地方税制改正に向け、下記事項を確実に実現されるよう、強く要望する。

記

- 1 地方の安定的な財政運営に必要な地方税・地方交付税などの一般財源総額を確保すること。その際、臨時財政対策債が累積することのないよう、発行額の縮減に努めるとともに、償還財源を確保すること。
- 2 地方交付税については、引き続き財源保障機能と財源調整機能の両機能が適切に発揮できるよう総額を確保すること。
- 3 令和2年度の地方税収が大幅に減収となることが予想されることから、思い切った減収補填措置を講じるとともに、減収補填債の対象となる税目についても、地方消費税を含め弾力的に対応すること。
- 4 税源の偏在性が小さく、税収が安定的な地方税体系の構築に努めるとともに、国税・地方税の政策税制については、積極的な整理・合理化を図り、新設・拡充・継続に当たっては、有効性・緊急性を厳格に判断すること。
- 5 とりわけ、固定資産税は、市町村の極めて重要な基幹税であり、制度の根幹に影響する見直しは、土地・家屋・償却資産を問わず、断じて行わないこと。さきの緊急経済対策として講じた特例措置は、臨時・異例の措置として、やむを得ないものであったが、本来国庫補助金などにより対応すべきものである。よって、今回限りの措置とし、期限の到来をもって確実に終了すること。

防災・減災、国土強靱化等の取組の充実・強化を求める意見書

近年、全国各地で豪雨や地震等による大規模自然災害が頻発し、甚大な被害が発生している。

令和2年7月豪雨では、全国の広い範囲で記録的な大雨となり、河川堤防の決壊等による浸水被害や土砂災害等が発生し、多くの尊い命が犠牲となった。

このような大災害は、もはやどこで起こっても不思議ではなく、過去に大水害のあった一級河川狩野川や浸水被害に悩まされてきた二級河川沼川、さらに伊豆半島や愛鷹山など火山性の脆弱な山々や、加えて南海トラフ地震等による津波など様々な自然災害リスクを抱える本市においても、他人事ではない重大事である。

気候変動の影響により頻発化・激甚化する風水害や大規模地震等の自然災害に対応していくためには、国、県及び市町が一体となって、防災・減災、国土強靱化の取組をさらなるスピード感を持って進めていくことが求められる。

このため、国においては、地方公共団体が防災・減災、国土強靱化等の取組を計画的・安定的に進められるよう、下記の事項について措置されることを強く要望する。

記

- 1 災害から国民の命と暮らしを守り、防災・減災が主流となる社会を構築するため、抜本的かつ総合的な防災・減災対策の仕組みを早急に確立すること。
- 2 防災・減災、国土強靱化等に資する社会資本整備を推進するため、補助採択基準の緩和や補助率の引上げなど国庫補助制度の拡充を図るとともに、必要な予算を安定的・持続的に確保し、地方負担分については地方財政措置の拡充を図ること。
- 3 令和2年度が最終年度となる「防災・減災、国土強靱化のための3か年緊急対策」について、対象事業及び財政措置を拡充した上で同様の施策を継続すること。
- 4 今後、想定される南海トラフ巨大地震等の大規模な災害に備え、広域幹線道路の整備を強力に推進し、ルートの多重化も踏まえた災害に強い緊急輸送ネットワークの構築を図ること。
- 5 社会資本整備に加え、災害発生時の迅速かつ円滑な復旧等のため、国の地方支分部局に必要な人員体制の維持・充実を図ること。



原東小学校
6年

金子 青怜奈さん

ぼくとわたしの ゆめ たから

沢田小学校
6年

中野 隼さん



天文学者になるために

ぼくの将来の夢は天文学者になりハワイにある国立天文台で働くことです。幼稚園の時に宇宙についての図鑑を買ってもらい、星団や星雲がきれいで実際に見てみたいと思いました。そして二年生の時に望遠鏡を買い星を観察して、もっと大きな望遠鏡で星や銀河を発見してみたいと思いました。

夢をかなえるためにこれからも図鑑などで知識を身につけて、検定にも挑戦したいと思います。そしていつか絶対に自分が発見した新しい星に名前を付けてみんなに知ってもらいたいです。

やっぱりお母さんが一番

私の宝は、お母さんだ。「ご飯や洗たくいろいろな事をしてくれるからだ。けれど私は、お母さんとたくさんけんかをす。けんかした時は、ずっと口をきかない。でも、三日後には仲直りする。

けんかしている時は、親のありがたみがわかる。いつもはご飯を食べている時に学校の話をしているけど、けんかしている時は、何も話せずに無言で食べている。さびしいと思う。どついたら仲直りできるか、毎日考えている。

何かあった時には、お母さんにしか、たよれなご。

新型コロナウイルス感染症拡大防止に係る沼津市議会の取組

令和2年9月28日 表明
議長コメント

沼津市議会では、新型コロナウイルス感染症の拡大防止対策として、市民生活を守るスピーディーな取組を推進する観点から、新型コロナウイルス感染症への対応に限り、地方自治法で定められた専決処分について、沼津市議会として柔軟な対応を取ることを令和2年4月10日の議会運営委員会で決定いたしました。また、市民や事業者の皆様から議員に対し寄せられた御要望・御意見等を取りまとめ、議長を窓口として要望活動を行うなど、議会が一枚岩となり市当局とともに全力で取り組む姿勢を表明いたしました。

全国的な感染拡大防止の取組により、一度は収束に向かう傾向を見せた新型コロナウイルス感染症は、その後、都市部などで感染拡大の傾向が強まり、本市においても、市内在住の感染者が複数発生するなど、市民の不安が高まるとともに、低迷する経済状況により、市内事業者の経営環境は非常に厳しいものとなっております。

沼津市議会といたしましては、これまで市内事業者を守るための利子補給制度や沼津の子供たちの教育環境を維持・向上させるべく、市当局に対し様々な要望を行ってきたことに加え、市民生活の深刻な状況を重く受け止め、低迷する市内経済の回復や次代を担う子供たちを育む教育現場の支援など、この苦境を乗り越えるための新型コロナウイルス感染症対策の推進に資するため、今年度上期の政務活動費の執行を停止するとともに、議員報酬の削減などを行ってまいりました。

こうした状況の中、一部本市議会議員より、新型コロナウイルス感染症対策に係る専決処分（補正予算）について、市当局に対し、また、沼津市議会に対しても、読まれた方に誤解を与えるおそれのある記事がインターネットブログ上で発信されました。

このことを受け、去る9月1日、本市議会議員22名からこの情報発信が議会の品位と名誉を損ない、沼津市議会議員政治倫理規程第3条第5号に違反するとして、謝罪とブログの修正を求める申入れ書が提出されました。公人としての議員の発言・情報発信には、常に細心の注意が求められることから、同日開催した議会運営委員会において、同議員からの謝罪を受けるとともに、後日、ブログへの修正追記もなされたところであります。

沼津市議会として、今後も市民の安全・安心、市内経済回復などのために、正確かつ時宜を得た情報の発信を行っていくとともに、市当局が行う各種事業を慎重に審議し、効率的・効果的な対策を行っていただけるよう議員全員が全力を尽くしてまいりますので、市民の皆様、事業者の皆様の御理解と御協力をお願い申し上げます。

沼津市議会議長 植松 恭一

これまでの取組を、市議会のホームページに掲載しています



議場の傍聴席側トイレを改修

傍聴席側トイレを女性専用に変更しました。
男性は議場入口側トイレを御利用ください。

市議会だより次回発行予定
令和3年2月15日



見やすく読みまちがえにくい
ユニバーサルデザインフォント
を採用しています。

議会だより編集委員会

委員長 加藤 明子
副委員長 浅田美重子

委員 平野 謙
委員 小泉 宣子

委員 深田 昇
委員 市川 道隆

委員 岡田 進一
委員 山下富美子